

副市長	俵 輝孝君
副市長	一宮 努君
教育長	糸瀬 英俊君
総務部長	庄司 克啓君
総務課長（選挙管理委員会事務局書記長）	犬束 幸吉君
しまづくり推進部長	藤田 浩徳君
観光推進部長	平間 博文君
市民生活部長	阿比留忠明君
未来環境部長	三原 立也君
福祉部長	田中 光幸君
保健部長	阿比留正臣君
農林水産部長	平川 純也君
建設部長	原田 武茂君
水道局長	桐谷 和孝君
教育部長	扇 博祝君
中対馬振興部長	日高 勝也君
上対馬振興部長	原田 勝彦君
消防長	井 浩君
会計管理者	勝見 一成君
監査委員事務局長	神宮 秀幸君
農業委員会事務局長	栗屋 孝弘君

---

午前10時00分開議

○議長（春田 新一君） おはようございます。

ただいまから議事日程第3号により、本日の会議を開きます。

---

### 日程第1. 市政一般質問

○議長（春田 新一君） 日程第1、市政一般質問を行います。

本日の登壇者は、3人を予定しております。

それでは、届出順に発言を許します。7番、安田壽和君。

○議員（7番 安田 壽和君） 皆さん、おはようございます。会派對馬の風の安田壽和でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、通告に従いまして質問をさせていただきます。

まずは、第1点目、あそうベイパークの整備計画について、(1)の玄海つつじの保護対策についてお尋ねいたします。

令和5年3月に作成されています、あそうベイパーク整備計画について少し話をします。

観光誘客を軸に置きつつ、維持管理の観点や、対州馬並びに固有の動植物の利活用、有害鳥獣対策など、多様な側面から計画内容が検討されていますが、その中で、第2次対馬市総合計画の中には、自立と循環の宝の島対馬として、全体を通して、一貫した将来像として基本的な考え方や構想が書かれ、後期計画において優先して取り組む分野横断的連携施策としてありますが、一部内容は割愛させていただきます。

その中の④で、自然と暮らしが共存する有害鳥獣対策が挙げられています。循環する地産地消の推進、多様で豊かな自然環境の保全を目的として、有害鳥獣対策が関連するテーマとして位置づけられています。

対馬市観光振興推進計画の中に方針が書かれています。日本の始まりに出会う源の島、持続可能な開発目的関連で、有害鳥獣対策や自然を守り活用する方法、第1次産業との連携など、あそうベイパークの再整備によって貢献できるものと考えられています。

年次スケジュールで、現在、管理棟の新設が進められておりますが、この公園の一部区域に、対馬の花として指定されている対馬自生の玄海つつじが、山の荒廃やイノシシの被害によって年々減少している状況の中、玄海つつじの保護を図ろうと、市民ボランティア、玄海つつじの森つくり会は、島内外の有志でつくるボランティアグループです。会員数は、現在、島内54名、島外21名で組織されています。

この会は、島の自然に深く学び、玄海つつじを中心とする対馬自生植物の花咲き誇る島づくりを行うことを目的に、対馬市内の厳原町から上対馬町島内の方々がボランティア活動として頑張っておられることに対し、この場からではございますが、深く敬意を表したいと思っております。

ここで、少し玄海つつじの森つくり会の活動の経緯について紹介をさせていただきます。

このボランティアの会は、平成10年に結成され、現在の会の前身である花の対馬ネットワークとして結成されております。平成14年から、基本的に毎月第3日曜日に手入れ作業が行われております。

平成16年にあそうベイパークに第1回目の玄海つつじの植え込みがなされ、現在まで17回の植栽が行われています。会員自らが種まきから自前で生育し、4年ほど管理した苗を、現在まで2万8,000本余りの植え込みがなされていると聞いています。将来的には5万本余りの植え込みを予定しているとのことでもあります。

現在は育成苗木代及びツツジの下刈り作業等を、市から補助していただいております。

平成28年、玄海つつじの森つくろう会に再度名称を変更して、年会費を集め、運営、再出発しています。

平成30年、対馬市福岡事務所、福岡対馬会、福岡市役所の応援を受けて、福岡市舞鶴公園に玄海つつじ60本、植栽が行われています。

平成31年に、福岡植物公園に20本、佐賀県基山町の東明館キャンパスに50本、小城市千葉城公園に60本を植え込みが行われております。

令和7年、福岡市舞鶴公園に再度72本補植が行われているなど、市民・ボランティアの皆さんの御努力によって、島外においてもこのような活動が行われ、対馬市の知名度のアップにもつながっていると思います。

また、児童生徒にも対馬自生の花木として関心を持ってもらうために、令和7年3月、豊玉小学校の児童、豊玉高校生の生徒で玄海つつじの種まき体験をし、現在1万本余りの小さな苗を育成中とのことです。

このほかにも、雞知中学校及び豊玉高校のボランティア活動で苗木の植え込み体験もなされているとのことです。

以上、現在までの活動の主なものについて紹介をさせていただきました。

このボランティア活動を対馬の活性化につなげていくためにも、この公園の整備をさらに充実させ、対馬独自の特色のある公園整備について、季節を通して鑑賞、楽しめる花木等を植栽し、観光客へのおもてなし及び市民の憩いの公園として、玄海つつじをメインとした特色ある公園整備を考えていただきたいと思います。

それでは、(1)の玄海つつじの保護対策についてお尋ねいたします。

現在は、玄海つつじや希少植物が山の荒廃及びイノシシ、鹿の被害によって、年々消滅の危機にあることを十分把握されていると思いますが、玄海つつじを対馬の環境のシンボルとして捉え、施設環境の整備を行うと記載されてあります。防護対策について、市長のお考えを伺います。

次に、(2)のベイパークの整備計画についてお尋ねいたします。

観光客の誘致対策として、特色ある公園、対馬自生の希少植物などを植栽し、季節ごとに観賞、楽しむことのできる公園整備計画について、市長の考えを伺います。

次に、2点目の災害時における救急車の搬送体制の確立についてお尋ねいたします。

近年、異常気象により、各地で台風や大雨による災害が発生しています。災害は、いつ、どこで発生するか分かりません。市民が安心して暮らしていく中で、台風や大雨による国県道・市道が通行止めになった場合に、救急車の要請について、消防署は速やかな搬送経路について、どのような体制を考えておられるか伺います。

例えば、豊玉町仁位から対馬病院までの搬送の想定で、市長のお考えを伺います。よろしくお

願いいたします。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） おはようございます。安田議員の質問にお答えいたします。

初めに、あそうベイパークの整備計画の推進についてでございますが、あそうベイパークは、令和4年度に策定したあそうベイパーク整備計画に基づき、現在、新管理棟を含めた各種整備を進めております。

このあそうベイパーク整備計画でございますが、国境という地勢的な特性に加え、浅茅湾や雄大な自然環境、対馬固有種であります動植物などの豊富な本市の観光資源の魅力を一体的に発信し、最大限利活用していくための観光拠点施設として、あそうベイパークを再整備し、交流人口の拡大、そして、対馬の付加価値をさらに高め、持続可能な観光の実現を図るために策定したものであります。

さて、1点目の対馬市の花、玄海つつじの保護対策でございますが、これまであそうベイパーク内では、玄海つつじの森つくろう会をはじめ、多くのボランティアの皆様の御協力をいただき、約2万8,000本の玄海つつじが植栽されてきました。

その結果、あそうベイパークには、玄海つつじが咲き誇る美しい景観を楽しみに、多くの来訪者が訪れるようになり、貴重な観光資源の一つとして、本市の魅力を高める役割を果たしています。

しかしながら、議員の質問の中にもありましたように、イノシシや鹿などの有害鳥獣による被害は市全域に及んでいるところであり、あそうベイパーク内においても、鹿の食害等により、玄海つつじの育成が妨げられている状況にあることを認識しているところでございます。

このため、持続可能な自然環境保全に向けた取組として、有害鳥獣対策を掲げており、玄海つつじの森をはじめ、キャンプ場などを含めた保全エリアをゾーニングし、周囲を適切に管理することで、イノシシや鹿の侵入を防ぐことが重要であると考えております。

一方で、ゾーニングエリア全域に短期間で防鹿ネット等を整備することは、広範囲であることや地形的な制約もあり、現実的には難しい状況にございます。そのため、玄海つつじの森つくろう会をはじめとする関係者皆様の御意見等を頂戴しながら、有効な対策の実施に向け、段階的に取り組んでまいります。

2点目の対馬を訪れる観光客へのおもてなしとして、対馬自生の希少植物などを植栽し、季節ごとに鑑賞、楽しむことができる対馬独自の公園整備についてでございますが、玄海つつじ以外に黄金オニユリをはじめとする対馬固有の植物や、四季折々に鑑賞できる木々などを植栽することは、観光地としてのさらなる魅力向上につながるものと認識しております。

しかし、一方で、対馬固有の植物につきましても、それぞれの生育に適した環境が異なること

から、あそうベイパーク内で植栽を行った場合に、適切に生育するのか、また、その後どのように維持管理を行っていくのかといった点が、現時点における課題であると認識しております。

したがいまして、対馬の自然と生き物の会や、玄海つつじの森つくろう会の皆様にも委員として御参画いただいている、あそうベイパーク観光活用連携プロジェクト協議会におきまして、専門的な御意見等を伺ってまいりたいと存じます。

次に、災害時において、迂回路のない国道上で通行不能となった場合の救急搬送体制についてでございますが、想定される通行不能となる自然現象としては、大雨などによる冠水と道路土砂崩れが最も発生頻度が高いと考えられます。

令和4年度から令和7年度の全島での迂回路のない道路における通行止めは3か所、冠水及び土砂崩れ等による孤立状態となった地区は5地区で、いずれも豊玉地区以内で発生しております。

テレビ等で報道される豪雨災害時の映像では、河川氾濫に伴い住宅地一帯が冠水し、救助者等の腰付近まで水位が上がっていることが多く、それに比較して島内での通行止めとなる冠水状況は極めて限定的で、広範囲にわたるものではなく、水位も50センチ程度で膝付近に位置する程度のものでございます。

しかしながら、救急車を含め、一般車両は水位30センチ程度が危険ラインとされており、冠水箇所に入ればエンジン停止のおそれが高くなります。迂回路のない浦底から対馬病院までの国道上で冠水等による通行止めとなった場合は、基本的には救急車とポンプ車が連携するPA連携、または救急車2台によるピックアップ方式での対応となります。

まず、患者収容前に冠水による通行止め箇所がある場合は、救急車とポンプ車が同時出動し、排水活動が可能な状況であれば、排水により水位を下げ、救急車が侵入できる状況となり次第、通常の救急活動に移行いたします。

次に、患者収容後に通行止め箇所がある場合は、隣接署所の救急車が冠水箇所付近で待機し、バックボード等で搬送されてきた患者を収容し、病院まで搬送いたします。土砂崩れによる通行止めの場合は、船舶による海上輸送を選択する場合と、災害時における建築物等の解体撤去等に関する協定書に基づき、時期を失することのないよう当該業者へ要請し、土砂撤去を行う場合がございます。

また、佐護川等の氾濫や海上での案件に備えて、対馬市消防本部では無資格でも操作できる2馬力のゴムボートを2艇保有しており、本署及び北部支署に配備しております。令和8年度当初予算において、中部支署に同様のゴムボートを配備する予算を上程予定です。

以上でございます。

○議長（春田 新一君） 7番、安田壽和君。

○議員（7番 安田 壽和君） 御回答ありがとうございました。

まず、再度、質問1点目について質問させていただきます。

保護対策についてですが、今、市長が答弁いただいたことも、範囲が広いということがあって、防護柵についてはすぐにはできない。ですから、中長期的な防護柵を設置するとの御回答だと私は認識しております。

そのため、短期的なものとして、今後、有害鳥獣対策のために猟友会さん等へお願いし、定期的に駆除をしていただけないか、検討していただけないか、市長のお考えをお尋ねします。

以上です。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 鹿、イノシシの駆除対策につきましては、もちろん、猟友会とも情報等を共有しながら、一緒に協力もしていただいているところでございます。

そういうことで、あそうベイパークにおける駆除対策におきましても、猟友会のほうにも加入されております一般社団法人のd a i d a iさんあたりが、ジビエなどの資源に活用する活動にも取り組まれているところでございますので、あそうベイパーク内のイノシシや鹿の個体減少に向けた取組につきまして、御意見等を頂きながら協力を要請していきたいというふうに思っております。

○議長（春田 新一君） 7番、安田壽和君。

○議員（7番 安田 壽和君） ありがとうございます。市長のおっしゃるように、あそうベイパークの広さが広いから、すぐにはできないということで、猟友会さんにもお願いして駆除をやっているということで私も分かりましたので、今後とも、有害鳥獣の対策について、短期的なものも考えながらやっていっていただきたいと思います。

玄海つつじの森というのが、やっぱり広さがあって、約、東京ドーム1個分の広い範囲になるため、市の財政も厳しい中ですが、年次計画によって順次計画をしていただきながら対策を取っていただきたいと思います。1点目については以上で終わります。

次に、2点目のあそうベイパークの整備計画についてですが、市民参加による公園づくりとして提案なんですけれども、市民一人一人が環境の宝の島の担い手であるという意識を高めるために、次の4点を提案をしたいと思います。

①として、市民ボランティアの要請。

②として、玄海つつじのオーナー制度の導入またはサポーター制度、市民・団体・企業が玄海つつじの特定の区画や苗の維持管理として寄附をしていただいたとき、名札を設置する制度。

③として、児童生徒などの体験学習の場をつくる。これは計画の中にも入ってございましたけれども、再度お願いしたいと思います。

④について、市民ボランティアの協力によって、対馬自生の植物の植え込みの協力をお願いに

ついて、4点について提案をしたいと思いますが、市長のお考えを伺います。よろしくお願ひします。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） あそうベイパークにつきましては、先ほども申しましたように、かなり広いエリアにわたっております。そういうことで、今御提言をいただきました4つの計画につきましても、あそうベイパーク観光活用連携プロジェクト協議会ですかね。ここの会員の皆様等と協議を深めながら、できる限りそのことが実行できるように進めてまいりたいというふうに思っています。

○議長（春田 新一君） 7番、安田壽和君。

○議員（7番 安田 壽和君） ありがとうございます。前向きな回答をいただきまして、今後ますます早く進むようなことで検討をよろしくお願いいたします。

次に、観光客へのおもてなしとして、公園に案内板、花木紹介看板の設置をすることで、環境の宝の島対馬の固有の自然の価値を深く理解できるように、魅力を高める情報提供によって、観光客の皆さんも安全・快適に施設を利用できる環境が不可欠と考えます。私も、あそうベイパークに行き、国道入り口に案内板がありましたが、公園内にも案内看板があればよいと思いました。

そこで、提案ですが、3つの提案をします。

市の花である玄海つつじの生態や固有種としての貴重性を解説した看板設置。

②として、具体的な要望として、多言語、玄海つつじの生態解説などの看板、パンフレット等の作成。

③浅茅湾周辺に自生する対馬固有の花木や植物を紹介するこれらの看板を、あそうベイパーク内の主な散策路沿いに積極的に設置することを検討していただけないか、市長の考えを伺います。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） ただいま提言を受けましたこの3つの案件につきましても、先ほどの答弁と同様、やはり、市が主体で進めるだけではなくて、やはり民間のボランティアの皆様方と深く協議をした上で進めるべきものというふうに考えますので、先ほどと同様ではございますが、あそうベイパークの観光活用連携プロジェクト協議会等で議論を深めて進めていければいいかなというふうに思います。

○議長（春田 新一君） 7番、安田壽和君。

○議員（7番 安田 壽和君） 協議をしていただくということで、大変ありがたいなと思っております。ぜひ前に進むようによろしくお願ひいたします。

次に、固有種を活用したお土産戦略として、知名度アップについてのまた提言ですが、先ほどと同じっておっしゃるかもしれませんが、提案をさせていただきます。

①として、管理棟などで玄海つつじの苗、ヒトツバタゴの苗などを観光客へ販売し、観光客に対馬の宝をお土産として販売する。

②販売に当たり、観光客に対し、これらの植物が対馬固有種であること、そして、環境保全の重要性を伝える案内パンフレット等を添えるなど、知名度アップにつなげる具体的な方策など。

③として、玄海つつじ、桜、エビネ蘭の開花時期に、イベントの開催について市民の参加を得て、市民の親しみやすい公園づくり、この3点について提案します。市長の考えを伺います。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） この件につきましても先ほどの答弁等と同様でありまして、市があまり主体的にやりすぎますと、他のボランティアの方たちの本当にやる気をそぐ形になってもいけないという思いを持っておりますので、ここはボランティア等の皆様と深く議論をしながら進めていきたいと思っておりますし。

ただ、特産品の販売等につきましては、やはり観光資源活用の一環として進めていくべきであろうというふうに思っております。

ただ、その場合の管理体制等をじゃあどうしていくのかというところが、ちょっと私自身も気になるところでありますので、先ほど申しましたように、関係者の皆様で深い議論をしていただいた上で進めていただければというふうに思います。

○議長（春田 新一君） 7番、安田壽和君。

○議員（7番 安田 壽和君） ありがとうございます。そういうことで協議をしていただきながら、ただ、この看板等については費用等が出てきますので、ボランティアの方とまた協議をしながら、市の負担が少し出てくるかとは思いますが、そこら辺も協議をしながら前に進めていただきたいと思えます。

次に、滞在型観光を促す交流人口対策について、先ほど市長の答弁の中にもありましたけれども、再度提案をさせていただきます。

①として、公園の宿泊機能を最大限に生かすために、アウトドアプラス、対馬観光の周遊ルートを作成し、パンフレットや多言語の案内板などを積極的に活用する。

②として、地域経済の自立に資するため、対馬産のイノシシの肉、魚介、シイタケなど特産品を優先的に活用できるように地元食材の提供、販売の仕組みを構築。

③夜の魅力として、対馬の満点の星を生かした星空キャンプなどを主力商品として宿泊プランを造成。この3点について、市長のお考えを伺います。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） この提言につきまして、いろいろと進めていかれることは、私は別に異論はないんですけども、ただ、この中で気になったのが、公園内での食肉等の販売となります

と、これは保健所等の許可等の関係で、果たしてどうなるのかなという思いを持っておりまして、そこら辺はしっかりとその対策等を練った上で進めるべきではないかなと思っております。

その他の宿泊とか、星を見る関係については、担当部長のほうから答弁してもらいます。

○議長（春田 新一君） 観光推進部長、平間博文君。

○観光推進部長（平間 博文君） お答えいたします。

多言語の案内版という御提案をいただきました。この件につきましては、現在、対馬市デジタルマップを運用しております。このデジタルマップにつきましては、7か国語で対応しておりますので、まずはそういったデジタルマップを最優先に御利用いただければと思っております。

2点目の、対馬産のそういった食材、農産品でしたり魚介、そういった部分の活用につきましては、今現在もそういったコンテンツの販売をしている業者もございますので、さらにそういった部分は広めていきたいというふうに考えております。

星空のナイトミュージアム、そういった御提案ですけど、確かにそういったメニューも今後、そういった提案をいただきましたので、もし可能であれば、そういった部分も、対馬の虫とかクワガタ、そういった部分の採取とかも、そういった合わせたプランとかもどうなのかなというふうに考えます。

以上です。

○議長（春田 新一君） 7番、安田壽和君。

○議員（7番 安田 壽和君） ありがとうございます。

先ほど市長が答弁いただきましたその販売については、また保健所のことがあるということですから、それはまた検討していただきながら、キャンプのときにそういうような食材として提供ができないかという私は考えだしたもんですから、今、部長がおっしゃったような形で、キャンプ等への販売等をお願いしたいなと思っております。

次に、イベントの開催についてなんですけれども、先ほどと重なりますけれども、これも提案ですが、あそびパークは、先ほども指定管理ということで運営されておりますが、市からの働きかけによって観光協会、対馬地域商社等の連携・協力によって、玄海つつじの開花時期などに合わせてイベントを開催し、さらなる公園の魅力化アップにつなげていただけないか、市民が楽しみの持てる公園づくりを進めていただけないかと思っておりますので、イベントの開催については、市長のお考えを伺いたいと思っておりますが、どうでしょうか。

○議長（春田 新一君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） イベントの開催ということでありまして、確かにこのあそびパークにつきましては、玄海つつじの花の咲く頃、そしてまた、桜の花の咲く時期には、多くの見学の方が見えていることは認識しております。

ただ、その中でどのようなイベント等を計画していくのかといったことは、やはり、この協議会や関係者の皆様でもう少しもんでいただいた上で、計画を進めるべきではないかなというふうに思っております。

○議長（春田 新一君） 7番、安田壽和君。

○議員（7番 安田 壽和君） ありがとうございます。協議をしていただけるということで、前向きな回答を頂きました。ありがとうございます。今後どうぞよろしくお願いいたします。

続いて、災害時の救急搬送体制についてですが、先ほどの回答で大体分かりましたけれども、やっぱり、各地区でいろいろな問題であると思いますので、ほかの市町村では、その想定訓練などもされているということを新聞でも掲載されておりますので、今後は対馬市もいろいろなことを考えながら、できる範囲で結構ですので、消防署または行政機関、消防団とかで協議をしていただきながら訓練を、また、市民が安心して災害時に生活ができるような計画訓練をしていただきたいと考えております。

これで私の質問を終わらせていただきます。本当にありがとうございました。

○議長（春田 新一君） これで、安田壽和君の質問は終わりました。

○議長（春田 新一君） 暫時休憩します。再開を11時10分からとします。

午前10時50分休憩

午前11時10分再開

○議長（春田 新一君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。16番、島居真吾君。

○議員（16番 島居 真吾君） おはようございます。自民党会派新政会の島居でございます。

今日は市長に3点だけお尋ねしますので、よろしく申し上げます。

質問に入ります前に、新しく教育長を引き受けていただいた糸瀬英俊教育長に心から感謝申し上げます。世に国の繁栄はまず教育からと言われております。子供たちが楽しく学べる環境づくりを、そしてまた御尽力いただきますように、よろしくお願い申し上げます。

それでは、通告に従いまして、市長にお尋ねします。

1点目は、市の防犯対策についてお尋ねします。

最近、漁船内の機械類、釣りざお等の盗難、また、民家、車上荒らし等が増えていますが、市として防犯対策は考えておられるのか、お尋ねします。

2点目は、旧佐須奈の消防団詰所についてお尋ねします。

まず、質問の中で、警察の指導によりとありますが、後日、警察に確認しましたら、指導した